

市政懇談会開催を！



松下 広美 議員

松下 市長のマニフエストに対する意気込みは。市長 市民の皆さんの意見を取り入れながら質を高めるように、精一杯取り組みます。

松下 本年度予算等を市民に説明し、そして意見を聞いて市政に反映するため、行政懇談会を開催しては。

市長 市民の皆さんとの意見交換を、小学校単位で実施して行きたい。

横断歩道の設置を！

松下 市道御代志野々島線沿いには西合志庁舎を始め公共施設が集中している。また、民間の歯科医院や子ども専用クリニック等もあり多くの人が利用されている。しかしこれら施設を利用するためには住民の人たちは交通量の多い所を行き帰り横断しなければならぬ。そのため横断歩道の設置を要望して頂きたい。



市道御代志野々島線

答があっている。
松下 市長自ら出向いて事情を説明して強く要望して頂きたい。
市長 事情を説明し要望して行く。

還暦祝いを合同では！

松下 60歳を迎えても、体験、知識・能力を持ち合わせて、それを地域に生かしたいと思っている方は多い。人生の新たな節目の時に、一堂に集まり、健康、人生等語って励まし合うような合同の還暦祝いを開催しては。

教育委員会事務局局長 今後検討したい。

どうなった？ 市道若原線整備



木場田孝幸 議員

木場田 県道大津・西合志線と市道若原線の十字交差の計画は。

都市建設部長 御代志地区区画整理事業と街路事業による都市計画道路として計画されたが、現在地元の反対もあり、棚上げになっている。今後、387号の御代志駅周辺の渋滞解消計画にて第1段階で大津植木線と御代志駅前まで、第2段階で御代志駅前から再春荘駅前までを県の方で整備した後、第3段階として総合的な構図ができれば、地元の希望に沿えるような整備をしたい。

どうする電鉄廃止案

木場田 電鉄のLRT化事業が中止された場合、20年3月に廃止するとの意向を聞いたが、電鉄と市がタイアップし、住宅街や合志庁舎、セミコンテクノパーク等をつ結び、JR豊肥線へ接続してループ状にすれば利用価値もあがるし、営業時間の延長、スピード化も合わせて将来的な構想を考える余地はないか。

市長 採算性、経済性その付近が出てきて、結論を急いでなされないと思う。電鉄を買収して市営でやるのか出来ればよいが、そんな壮大な事は、簡単に結論が出せず、答弁に苦しみところです。

危険箇所マップ作成 その後は？

木場田 各学校にて地区委員が担当地区を生徒と一緒に下校し危険箇所の調査をし、マップに記入して校舎の児童生徒の目に付く所に提示しているとのことだが、危険場所については、なんらかの手立てや対策は、具体的に執っているのか。

教育委員会事務局局長 河川の主な所に、学校名や教育委員会名を入れた「大変危険ですから立ち入らないで下さい」といった看板を立てている。又、危険箇所の問題については、再度点検して、もし緊急なものがあれば、他の課と相談しながら対処していきたい。



市道若原線

子育て支援日本一のまち づくりの施策は！



田端眞知子 議員

田端 合志市の当面する重要施策の一番である子育て支援日本一のまちづくりについて、まず庁舎内検討委員会では、どのように検討されたか伺う。総務企画部長 各関係課の係長、補佐クラスで情報の共有をし、必要な公的支援、住民参加の子育て支援等を確認し合う。意思統一をしながら次世代育成支援事業計画に沿って取り組む。

田端 子育て中の若い世代の生の声は聞いているか伺う。

市長 子育て中の人の生の声を聞く事が一番大事

だと思つ。諸々の悩みや不安を聞いている。

田端 この少子化の中で第3子を産みたいが保育行政に不安がある。行政はなぜ手を差し伸べられないか。

健康福祉部長 待機児童を優先する故に育児休暇中は3カ月・6カ月で退園としていたが、今定数的にゆとりが出てきたので今後対応できるような検討する。

学校給食の統一を！

田端 学校給食は心豊かな子ども達の育成に重要な位置にある。旧西合志町は自校方式、旧合志町はセンター方式と全く違う。給食センターも28年を経過し、改修の必要な



時期にある。そこで、温かくて匂いのする自校方式への統一は考えられないか。

教育長 なかなか簡単にはいかない。学校給食の役割、色々な課題とそれを解決するための意義を考えていきたいと思う。

市民の要望に応える 行財政改革体制の確立を！



江副 一男 議員

江副 新市では「行財政改革」実現への意識改革が急務だが対策は。

市長 就任日に係長以上を集め政権マニフェスト等により市長の方針を説明した。一般職員にもマニフェストを配布済。従来型の公務員から新しい時代の要請にこたえる公務員への意識改革が必要であり指導する。

江副 「行政評価制度」や「政策審議」など良い制度へ取り組むが、制度を作ること自体が作業目的化して、形作りで終わることが懸念されるが。

総務企画部長 業者に委託して取り組むが部長以下、職員すべてに40から50回の研修を重ね、市民に役立つよう従来型から抜け出せるためのシステム作りをします。

江副 事故の無い正しい事務を遂行するには基本的に実務能力の向上研修が必要。法務基礎研修は女性職員まで実施はどうか。信賞必罰に徹し実務上の改善等表彰も必要ではないか。

市長 必要であると考え取り入れたい。



意識改革を急げ！

江副 新市建設計画の子ども教育環境充実のため、人材の獲得を望む。子どもの知的意欲向上のため、熊本電波高専指導の「合志市ロボット大会」など新施策を望む。市長部局との協力を期待したいが？

教育長 ロボット大会は考えてみたい。市当局とは学校耐震診断書で協力を得て前進中です。